

第2学年 社会科学学習指導案

日 時 平成21年11月17日(火)5校時
学 校 住田町立有住中学校
学 級 2年A組(男17 女5 計22名)
授業者 千葉 賢一

1 単元名 第1章 さまざまな面から見た日本 「3 世界と日本の人口」

2 単元について

(1) 教材観

本単元は学習指導要領の大項目「世界と比べてみた日本」の小項目「人口から見た日本の地域的特色」に含まれる内容である。「世界と日本の人口」の小単元は、人口という視点を通して、世界的視野から見た日本の人口や人口構成の特色について調べ、それに伴う課題や、人口分布の偏りから生じる課題について学習する。

具体的には、我が国は1億人を超える数少ない国であること、人口集中地域になっていること、世界に類を見ない速さで少子高齢化が進み、平野部には大都市圏が発達して過密地域が、山間部には集落がまばらに点在している過疎地域がそれぞれ見られることを取り扱う。

特にも、人口問題という現代社会が直面する課題を学習することは、過疎地域に住み、これからの社会を生き抜く本学級の生徒にとって、切実で重要な教材である。学校の閉校などを体験している生徒には、とても身近で関心を持って学習することができる教材であり、授業後も本単元の学習を通じ自らが住む地域社会を見つめさせていきたい。

(2) 生徒観

社会科の学習には興味を持って前向きに取り組み、教師の問いかけにも真剣に考え、与えられた課題にも一生懸命に取り組もうとするとてもまじめな生徒である。世の中のニュースや出来事を話題にしても、多くの生徒が知っていて反応よく応じたり、知識・理解を問う問題にも意欲的に答えたりして、級友の前で発表することもあまり苦にしないなど、学級の人間関係も望ましい状態にある。

しかし、社会事象について解釈を求める問題や根拠を基に説明する問題などでは、消極的な姿勢をみせる。NRT等のテストを分析しても、『学習したことを転移する力』や『グラフや統計資料を読み取る力』の不足を感じる。学習する上での基本的な要素は備わっている集団なので、授業者の指導の在り方によって更に伸びる可能性を秘めていると考える。

(3) 指導観

本単元の指導にあたっては、生徒の実態をもとに、『様々な資料を読み取る授業』『考えを持ち発表のある授業』を意識して展開していきたい。

本時では、導入段階で地元住田町の「新町民増加計画」や「移住促進のホームページ」などの資料を複数提示し、学習課題を設定したい。展開では、生徒の予想を住田町の事例を基に検証させたい。日常生活と資料を結びつけながら思考・表現することを通して事実をつかませ、最終的には関心・意欲も高めていきたい。終末では、本時の学習で学んだこととそれに対する自分の考えを書かせ交流させたい。

本時の内容は、3年時の地方自治の学習とも関係する部分である。2年時に過疎化の問題と地域おこしについて学習しておくことで、地域を見つめる力が養われ、3年時の学習に大きく生きてくるものと考えている。更には、生徒会活動や総合的な学習の時間、道徳の時間に生き、願わくば、地域社会において行動することができる生徒が育ってほしいと思う。

そのためにも、次時では、住田町ではどのように過疎に立ち向かい地域おこしを進めているのかを扱い、「過疎＝暗い・大変」ではなく、現状を受け止め前向きに生きられるように、地域の取り組みを知り、地域に感謝と誇りを持てるように授業を展開していきたい。更に日本各地で過疎問題に取り組み、地域おこしを進めている事例を取り上げながら、過疎地域の抱える問題を一般化できるようにして、社会を見つめる力を育てていきたい。

3 単元の目標及び評価計画

(1) 指導目標

- ①世界と日本の人口について、世界的視野から日本を一つの地域として見た日本の地域的特色と、日本全体の視野から見た国内の諸地域の特色をとらえる活動を通して我が国の国土の特色を大観させる。
- ②世界の人口分布や人口増加には大きな地域的偏りがあり、人口増加が著しい国々について人口増加の原因を理解するとともに、どのような対策がとられているか考えさせる。
- ③日本の人口分布図から過疎・過密の傾向性を読み取らせ、それぞれ具体的に事例地域を取り上げてその特色を学習させ、これからの在り方を考察させる。

(2) 単元目標

- ①現在の日本の人口構成や人口分布が大きく偏っていることに関心を持ち、高齢化社会や少子化、過疎・過密がもたらす社会的な課題について、意欲的に学習しようとする。【社会的事象への関心・意欲・態度】
- ②世界の人口増加地域の人口抑制策や問題点、日本の過疎と過密の問題について考えることができる。【社会的思考・判断】
- ③人口構成の特色や人口の問題を考察するために、グラフや分布図等の複数の資料から、情報を収集・選択して活用することができる。【資料活用の技能・表現】
- ④世界の人口は都市や工業の発達した先進工業国とアジアの稲作地帯に集中していることに気づくとともに、日本でも過密・過疎地域があり、人々の暮らしに大きな影響を与えていることを理解し、その知識を身につけることができる。【社会的事象についての知識・理解】

(3) 指導計画と評価計画（全6時間）

時	指導内容	観 点 評 価 規 準			
		社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考判断	資料活用の技能・表現	社会的事象への知識・理解
1	世界の人口分布とその推移 ・かたよった人口分布 ・急激な人口増加	・世界の人口分布や人口増加に関心を持ち、意欲的に学習しようとする。	○世界人口の急増に気づき、その要因や問題を考えることができる。	○人口分布図から先進工業国やアジアに人口が集中していることを読み取ることができる。	・世界の人口分布と人口増加の背景について理解している。
2	日本の人口と人口問題 ・日本の人口 ・人口構成とその変化 ・高齢社会と少子化	・日本では、わずかな間に少子高齢化社会に至ったことを、人口ピラミッドから気づき、少子化のもたらす将来について関心を持つ。	○日本の少子高齢化に気づき、少子高齢化の進行理由と、少子高齢化の及ぼす影響について、考えることができる。	○日本の人口ピラミッドにおける推移から、日本の人口に関する特徴を読み取ることができる。	・少子高齢化社会の原因と問題について、理解している。
3	かたよる日本の人口分布 ・人口分布の特徴 ・大都市への人口移動	・自分の行ったことのある人口集中地域の地形や産業、交通と関連させて、人口集中について関心を持つ。	・都市部への人口集中の要因について、産業、交通、文化などと関連させて考えることができる。	○日本では平野部への人口集中が目立ち、山間部が人口希薄の過疎地域になっていることを読み取ることができる。	○日本の人口分布の特色、大都市への人口移動の背景を理解している。
4	過密の問題とその取り組み ・日本の過密地域 ・大阪市と過密の問題	・著名な地域名から、都市の再開発の動きに関心を持つ。	・大都市の抱える過密の問題点と解決策について考えることができる。	○大都市が抱える過密の問題を分布図や景観写真などから読み取ることができる。	○「過密」の意味や日本の大都市が抱える共通の問題と解決の必要性を理解している。
5	過疎問題とその取り組み① 本時	○過疎地域に関する様々な現状について、住田町の事例を基に意欲的に考えようとする。	○住田町の事例を基に過疎化の問題を具体的に考えることができる。	・過疎地域に見られる問題点を資料から読み取ることができる。	・「過疎」の意味や過疎地域に見られる問題点について、理解している。
6	過疎問題とその取り組み②	○過疎地域の様々な取り組みを知り、過疎問題について関心を持つ。	○過疎地域の対策について、住田町の事例から具体的に考えることができる。	・住田町の地域への願いを資料から読み取ることができる。	・過疎地域の様々な取り組みの様子や人々の努力、願いについて理解している。

4 本時の指導

(1) 本時の目標

- ①住田町の事例を通して過疎の問題に関心を持ち、その問題点について進んで調べようとする。
- ②複数の地域資料から、過疎化や人口減少の問題について考えることができる。

(2) 本時の評価規準

評価の観点	評価規準	A 十分満足できる	B 概ね満足できる	C 努力を要する生徒への指導の手立て	評価場面
社会的事象への関心・意欲・態度	過疎地域に関する様々な現状について、住田町の事例を基に意欲的に考えようとする。	学習課題について根拠を明確にして予想を立て、終末のシートに住田町の今後について、自分の決意や出来ることなど、主体的な内容が書いてある。	学習課題について、自分の予想を書き、終末のシートへの記入で分かったことや自分の考えをまとめてある。	十分に満足できる級友の記述内容を聞かせたり、教師が助言を与えたりして今後の関心・意欲につなげる。	・学習シートへの記入 ・発言
社会的な思考・判断	住田町の事例を基に過疎化の問題を具体的に考えることができる。	人口減少によって生じている問題点について、多方面から考察し具体的に説明できる。	具体的に事例を出して、人口減少の問題点を指摘できる。	町内の様子を具体的にイメージさせたり、級友からヒントを得たりするよう指導する。	・学習シートへの記入 ・発言

(3) 展開案

	学習内容と学習活動	指導上の留意点 (☆評価)	資料
課題の把握	1, 学習課題を把握する。 ○移住を呼びかけている複数の資料から、住田町では、人口を増やそうとしていることをとらえる。 2, 学習課題を立てる。 住田町では、なぜ人口を増やそうとしているのだろうか。	・テンポよく進める。 ・共通の言葉に気づかせ、学習課題に結びつける。 ・前時に学習した過密との違いに気づかせ、問題意識を高める。	移住を呼びかけるチラシ
課題の追究	3, 学習課題に対する予想を考え発表する。 ・人口が減ってきたから。 ・住田に住んで欲しい。 ・住田に戻ってきてほしい。 ・人がいないと発展しないから。 4, 予想の検証をする。 (1) グラフから住田の人口推移をとらえると共に、人口減の理由を考える。 ・仕事がない。・娯楽がない。・交通の便が悪い。 ・店がない。・都会で生活したい。 (2) 人口減少に伴う問題点を考える。 ・店が儲からない。→閉店。 ・病院や交通網の撤退。・病院の無床化。 ・税収の悪化。閉校。・地域行事、郷土芸能が廃れる。 ・一人暮らしが増える。 (3) 人口減少に伴う問題点についてまとめる。 ・税収の減少は町政に大きな影響を与える。 ・利用者あつてのサービスがなくなる。	・書く時間を十分にとり、全員に自分の考えを持たせる。 ・予想を発表させ、出された予想について検討させることにより以後の追究に生かす。 ・机間巡視により個々の考えをとらえ、以後の展開に生かす。 ☆予想を持つことができたか。(記述) ・人口が大幅に減少していることをグラフで確認する。 ・学校の統廃合の経験を想起させたり、身近な生活での不便な点について考えさせたい。 ・個人で考え、必要に応じてグループで確認させる。 ☆人口減少に伴う問題点を考えることができたか。(記述) ・税収の減少をとらえさせる。 ・主に税収と公共機関の減少の視点から問題点を考えさせる。	人口グラフ 新聞記事 昔のバス路線 税収グラフ

	<p>5, 日本の過疎地域の分布図等から、過疎化についてとらえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少による地域社会の維持が困難な地域。 ・日本には多くの過疎地域がある。 ・山間部や離島などに多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書を用い、日本の過疎地域について一般化を図る。 	日本の過疎地域（分布図）教科書 p176
まとめ・発展	<p>6, 本時の学習を振り返り、自分の考えをまとめる。</p> <p>○本時の学習で分かったことと、住田の過疎について自分の考えをまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>人口が減ると町の税金も減り、私たちの暮らしが成り立たないなど多くの問題点があることが分かった。日頃から地域にお世話になっているので、将来は住田に残って、自分にできることはしていきたいと思う。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・書く時間を十分にとり、本時の内容について学習事項を自分の言葉でまとめさせる。 ・発表させて、押さえない内容を確認する。 <p>☆授業で学んだ内容を自分の言葉で書いているか。自分の見解を書いているか。（記述）</p>	
10	<p>7, 次時の予告をする。</p> <p>○住田町の過疎の取り組みについて学習することを知らせる。</p>		